

## 2. デフバスケットボール日本代表監督

チーム編成方針に基づき、以下の選考基準に従って、デフバスケットボール日本代表監督を選考する

### (1) 職務遂行能力

- ・ デフバスケットボール日本代表がチームとして勝利できるために、監督としての職務を適切に準備・遂行できること。

### (2) デフバスケットボールへの理解

- ・ デフバスケットボールの競技ルールや特性を十分に理解していること  
(デフ選手の特徴、ルールの特性、コミュニケーションの取り方など)

※デフ選手は

- ① 聴力や聞こえ方には個人差があり、普段の生活で使用している補装具や意思疎通手段が異なる。
- ② 普段、補装具を使用して口話中心で生活している選手もいれば、手話言語中心で生活している選手もいる。それに加え、用語の使い方、指示・説明時のニュアンスの違いにより、意思疎通が難しい場合があることを理解する。
- ③ 視覚・触覚・手話言語通訳などを活用し、その場で正確に情報を伝える必要がある。

### (3) コミュニケーション能力とチームビルディング

- ・ デフ選手やチームリーダー、スタッフ、協会関係者と円滑に意思疎通を図り、お互いを尊重し合える関係を築くこと。
- ・ 戦術や方針をわかりやすくデフ選手に理解・実行させることができること。

### (4) 公平性とリーダーシップ

- ・ デフ選手に対し差別やえこひいきなどがなくかつ、お互いの第一言語（視覚活用の手話言語、聴覚活用の音声言語）を尊重し、お互いの視聴覚を最大限に活用し、公平な態度で接することができること。
- ・ チームの目標や方向性を的確に示し、それをデフ選手やスタッフに共有できること。
- ・ 判断の難しい場面でも迅速かつデフ特性を遵守し適切な判断を下す能力を兼ね備えていること。
- ・ デフ選手に対し、チーム内のルールや規律、礼儀を守るなど、コンプライアンスの重要性の意識づけができること。

### (5) 育成力

- ・ デフ選手の資質を見抜き、的確な練習を重ねることによってチーム全体のモチベーションや個人のポテンシャルを最大限に活かすことができること。
- ・ 大会までの期間を逆算し、チームとして必要になってくる力を伸ばすことができること。
- ・ デフバスケットボール日本代表チームを勝利に導くことができ、デフバスケットボールの発展につながる組織づくりができること。